

# 高次脳機能障害を理解する

講師 中島恵子（帝京平成大学教授）

資格：心身医学会認定医療心理士、臨床発達心理士スーパーバイザー

研究領域：神経心理学、認知リハビリテーション、神経心理学的検査査定、心理支援

著書：「子どもたちの高次脳機能障害（三輪書店）」「理解できる高次脳機能障害（三輪書店）」他

脳梗塞、交通事故など、予期せぬ脳損傷によって高次脳機能障害を負った人たちの支援に注目が集まっています。高次脳機能障害とは、大脳の部分的な損傷により、言語、思考、記憶、注意、行動、学習などの機能に障害が起こった状態です。

ケーアイピーピーでは、高次脳機能障害の理解に欠かせない神経心理学の基礎を学ぶために、日本における神経心理学の第一人者である中島恵子先生による5回シリーズの講座を企画いたしました。

高次脳機能障害はもとより、発達障害や様々な精神障害をもたらす「生の困難（difficulty in living）（Sullivan,1953）」を理解し、有益な心理療法の実践を行ううえで、貴重な学びになると確信しています。

スケジュール	第1回「高次脳機能障害を学ぶ」 第2回「神経心理学的な知識を学ぶ」 第3回「認知リハビリテーションを学ぶ」 第4回「神経心理学的検査を学ぶ（1）」 第5回「神経心理学的検査を学ぶ（2）」	2017年 9月 17日（日） 2017年 10月 22日（日） 2017年 12月 10日（日） 2018年 2月 25日（日） 2018年 3月 18日（日）
時間	各回10：30～16：30（10：00受付開始）	
会場	京都駅周辺（決定次第ご案内いたします。）	
受講料	各回申込 一般 7,000円 学生 6,000円 全5回シリーズ申込 一般 30,000円 学生 25,000円	
申込締切	各回開催日の2週間前。 ただし、6月30日まで、シリーズ申し込みをされた方を優先して受け付けます。それまでになされた各回の申し込みも含め、7月1日以降、会場のキャパシティをみながら、先着順に受け付けさせていただきます。	
募集対象	臨床心理士、精神科医、その他の医療・教育・福祉等で心理臨床に関わっている方。または、それに関わる学生、大学院生。	
申込方法	<p>◆メールの場合 件名に、「KIPP神経心理スペシャルセミナー申込」と記入し、本文に下記事項をご記入の上、<a href="mailto:info@kipp-u.co.jp">info@kipp-u.co.jp</a>までお送りください。 ①氏名（フリガナ）、②所属（※氏名・所属は、各回の参加者名簿に記載させていただきます。）、 ③職種（学生の方は学年を記入）、④臨床心理士資格の有無、⑤住所、⑥連絡先：電話番号/E-mail、⑦申込回：シリーズ申込、もしくは受講希望の回（複数可）</p> <p>◆申込フォームの場合 右記のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただき、必要事項をご記入のうえお送りください。</p>	



第1回  
高次脳機能障害  
を学ぶ

高次脳機能と脳の損傷がもたらす主症状（注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害など）について、ビデオ視聴や実際の機能チェックを体験してもらいながら、具体的に説明します。

第2回  
神経心理学的な  
知識を学ぶ

神経心理学とはなにか説明した後、脳の構造と基本的な機能について解説します。また、前頭連合野と大脳辺縁系の関係、ミラーニューロン、イメージの記憶といったトピックスにも触れます。

第3回  
認知リハビリテ  
ーションを学ぶ

認知リハビリテーションの歴史、理論、近年の発展について説明した後、統合的神経心理学的リハビリテーションならびに注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害に関する各認知リハビリテーションを解説します。

第4回  
神経心理学的検査  
を学ぶ（1）

神経心理学的検査の意義についてお話しした後、WAIS-IIIについて、検査測定の意味、検査方法から解釈に至るまで、症例も用いて具体的に解説します。

第5回  
神経心理学的検査  
を学ぶ（2）

WMS-R（ワーキングメモリ、エピソード記憶）、RBMT（展望記憶）、BADS（遂行機能症候群）といった3つの神経心理学的検査について解説します。

お問い合わせ先

有限会社ケーアイピーピー  
〒612-8083 京都府京都市伏見区京町4丁目156番地1桃山ビル3階  
TEL&FAX：075-623-0823 E-mail：info@kipp-u.co.jp  
ホームページ：www.kipp-u.co.jp  
（講師による内容紹介と各回の詳しいコンテンツをホームページに掲載しています。）

